

会計人の教養

11



学校法人高橋学園

専門学校

東京CPA会計学院 熊本校

朝礼実習の進め方

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">進行</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 15度の黙礼</p> <p>④ 「開始5秒前です。姿勢を正してください。」</p> <p>④ 元の位置に素早く戻る</p> <p style="text-align: center;">＝5秒後＝</p> <p>⑤ 15度の黙礼</p> <p>⑥ 「東京CPA会計学院、〇〇△△（フルネーム）、進行いたします。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「〇月〇日〇曜日、ただいまより朝礼を始めます。」</p> <p style="padding-left: 20px;">「朝の挨拶、〇〇社長！」</p> <p>⑦ 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教養長</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">社長</div> </div>	<p>社長役：① 素早く一步前（輪の中央）に出る。</p> <p>② 目線を全員に配る</p> <p>③ 「みなさん！」</p> <p>全 員： 「おはようございます（30度の礼）」</p> <p>社長役：④ 「今日のスピーチ」</p> <p>全 員：⑤ 15度の黙礼</p> <p>社長役： 元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">進行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">社長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">挨拶長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">教養長</div> </div>	<p>進行役：① 一步前へ出る</p> <p>② 「挨拶実習、リーダー〇〇さん！」</p> <p>挨拶長：① 「はい！」</p> <p>② 「挨拶実習を始めます。お願いします！（30度の礼）」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>挨拶長：① 「おはようございます！」</p> <p>② 「おねがいします！」</p> <p>③ 「ありがとうございました」</p> <p>④ 「失礼します」</p> <p>⑤ 「以上で挨拶実習を終わります！」</p> <p style="padding-left: 40px;">ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>全 員：「ありがとうございました（30度の礼）」</p> <p>挨拶長：元の位置に素早く戻る</p>

<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> </div> <div style="margin-top: 10px; border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ②「会計人の教養輪読、リーダー〇〇さん！」</p> <p>教養長：①「はい！」</p> <p>進行役：元の位置に素早く戻る</p> <p>教養長：「お願いします！」</p> <p>全 員：「お願いします！」</p> <p>教養長：① 全員の体制が整ったのを確認 ② 「〇ページをお開き下さい」 ③ 「〇月〇日〇曜日、『テーマ』、『本文』」</p> <ul style="list-style-type: none"> ★段落ごとに教養長が「はい！」と区切る ★順番に「はい！本文(途中段落)…」と続けて本文を読む ★最後に教養長が「はい！ありがとうございました。本文(最終段落)…」 <p>④ 全員が落ち着いたことを確認 ⑤ 「今日の心がけを斉唱いたしましょう」 「今日の心がけ！」</p> <p>全 員：「〇〇〇をしましょう！」</p> <p>教養長：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>教養長：元の位置に素早く戻る</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">進 行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">挨拶 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教 養 長</div> </div> </div>	<p>進行役：①一歩前へ出る ② 「以上で朝礼を終わります。」 「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>全 員：「ありがとうございました (30度の礼)」</p> <p>進行役：「解散します！解散！」</p> <p>全 員：「はい！」</p>

会計人の教養

11

ひとりひとりが経営者

26	25	22	21	20	19	18	15	14	9	8	7	6	5	4	2	1
火	月	金	木	水	火	月	金	木	土	金	木	水	火	月	土	金
和食器の良さ	冬の危険	本の読み方	管理会計	親への感謝	マツキンゼー・アンド・カンパニー	美しい言葉遣い	考える力	好奇心	活力朝礼	成功と失敗	お父さん怒ってる？	「捨てる」と「造る」	影の立役者	掃除	馴染みのラーメン屋	さらに深く、より広く
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

※今月号は、
2015年1月～2016年8月までに掲載された
過去の記事を再編集したものです。

30 29 28 27

土 金 木 水

動物たちの楽園
失敗という教養
人との付き合い方
あなたを守る砦

21 20 19 18

2019 NOVEMBER

令和元年 霜月[しもつき]

第5巻11号(通算53号)

今月の目標

※ここに、今月の目標を記入しましょう。

厳しい雇用状況が続く近年、インターネットの知識や管理ソフトなどを活用し、多くの分野の仕事を一人でこなせる「ゼネラリスト」を求める企業も少なくはありません。

しかし、高度なプログラムを組んだり、高度な会計処理を行ったり、高い語学力を發揮したりすることは、高い専門性を持った「スペシャリスト」にしかできません。

例えば、図書管理のプログラムを組むためには、図書管理の仕組みを知らなければなりません。また、退職金の会計を行うためには、労働基準法を学ばなければなりません。さらに、医療のデータを翻訳する業務などであれば、医学を学ぶ必要もあります。

専門性が高いことは「深く狭い」ことであると思われがちですが、真のスペシャリストはさらに深く、より広い知識が求められるのです。

仕事は判断の連続で、判断には軸が必要です。専門分野を極め、それを軸とした上で、ビジネスに必要な知識や能力を身につけた人が、真のスペシャリストと言えるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆真のスペシャリストを目指しましょう。

Aさんは、珍しくお母さんを外食に誘いました。行き先は、昔からよく行く馴染みのラーメン屋です。お母さんは「昔からここ美味しいよね」と顔にシワを寄せて笑い、Aさんもお母さんも夢中で麺をすすりました。

しばらく経って、ラーメンを食べ終わったAさんがふと、お母さんの方を見ると、ラーメンの器に浮かぶチャーシューが二枚……。そのチャーシューの下にはまだ、たくさんの麺が余っています。

お母さんは申し訳なさそうにAさんの顔を見て、「ごめんね、母ちゃん、もう年だから。ごめんね。」と繰り返しました。「そんなもんしょうがないよ」と言うと、Aさんはお母さんの残したラーメンをすすりました。「そういえば子供の頃、よく無理して大盛り頼んで、結局食べきれなくて、母ちゃんに食べてもらったっけ」。

いつの間にか立場も逆転し、若かったお母さんも、今ではシワも増え、背丈も頭一個分違います。

今までどれだけの迷惑を掛けたかと思うと、悔しさと不甲斐なさでいっぱいになったAさん。「母ちゃん。こんな俺を今まで育ててきてくれてありがとう」。気づくと、そう呟いていました。

今日の心がけ◆親に感謝の心を持ちましょう。

私は、掃除をすることはとてもいい事だと思います。そう思うようになったのは、高校のとき、部活動を通じて掃除をすることの意義を常に考えさせられたからです。

部活動の監督からは、「人間としての土台作りをしっかりやれ」と言われてきました。それは、いくら技術や能力があっても、その土台となる基礎の部分、つまり、人間としての土台の部分がもろいと簡単に崩れてしまうからです。

部活動では、朝の時間や昼休みなどを使って、学校中の様々な場所を掃除しました。初めのうちは、掃除をする意味が分からず、嫌々やっていました。

しかしある日、憧れの先輩から「いつも掃除ありがとうね」と言われ、その何気ない一言がとても嬉しかったのです。そのとき初めて、大切なことが分かった気がしました。

それは、「人間としての土台」とは、人からの信頼や感謝の心だということです。私はひたむきに掃除をすることと、感謝されることを通じて、そのことに少しだけ気づくことができました。

今日の心がけ◆何のために掃除をするのかを考えましょう。

ある大学のラグビー部の話です。このチームは大学選手権の決勝まで勝ち進みましたが、決勝前日、会場は大雪に見舞われ試合開始が困難な状況にありました。

しかし、決勝戦当日の早朝、補欠の四年生が中心となり、競技場の雪かきをして、決勝の舞台を整えました。無事に試合は開催され、このチームは見事優勝。雪かきの先頭に立った部員は、「ぼくたち、最後にチームの役に立ったな」と呟きました。試合に出場する選手と、それをサポートするすべての部員が、それぞれの立場で持てる力を発揮し、掴んだ日本一の栄冠だったのです。

職場においても、多くの人が集まって一つの仕事が成り立っています。その中には、表に立つ仕事もあれば、陰で支える仕事もあります。

しかし、「職業に貴賤なし」といわれるように、世の中に無駄な仕事は一つもありません。どのような役割でも喜んで、できることに精一杯取り組んだとき、連帯感の中で最高の仕事ができるでしょう。

務める役割の大小にかかわらず、誰もがその仕事の立役者なのです。

今日の心がけ◆自分の役割に誇りを持ちましょう。

インターネット広告やゲーム関連などを手掛ける企業、株式会社サイバーエージェントで、一風変わった会議が開催されました。それは「捨てる会議」です。

会議は「破壊と再生」をテーマに、「うまく機能していないものを一度リセットし、また新しく創ろう」という目論見で行われました。会議の結果、ほとんど実施されていない事業や、三か月以上貼られているポスター、個人のゴミ箱など、三十の項目で捨てるものが決まりました。

同社の藤田晋社長は、「単に惰性或世の中の慣性で続けていたものも沢山見つけた」と会議の成果を振り返っています。

私たちの周りでは、時代に応じて新しい業務や施策、法律などが生まれていきます。しかし、同時に行うことには限界があるため、新しいことを増やすと同時に、不要なものを減らすことも意識する必要があるのではないのでしょうか。

新たに「創る」ために、何かを「捨てる」という発想で、私たちが身の周りを見直してみましよう。

今日の心がけ◆捨てる勇氣を持ちましよう。

お父さん怒ってる？

頭で考えていることは、周りには伝わっていないと思っていませんか。しかし、言葉にしていないのに、相手に伝わってしまうことはしばしばあるものです。

Aさんは、三歳の子供と一緒に、朝食を食べながらテレビのニュースを見ていました。すると突然、子供から「なんで怒っているの？」と聞かれました。

「いや、怒ってないよ」と答えたAさんですが、子供は眉をしかめながら、「怒ってるよ！」と言います。「怒ってない」「怒ってる」と繰り返すうちに、Aさんはつい「怒ってない！」と声を張り上げてしまいました。

その声に子供が泣きだしたことでAさんはハッと我に返り、もしかすると自分は、気づかないうちに眉間にしわを寄せ、厳しい顔でテレビを見ていたのかもしれないと反省しました。

家庭や親しい間柄では、気を許せる間柄のため、感情が表情に現れやすくなります。常に感情をコントロールするのは難しいことですが、自分の「表情」が思いのほか「感情」を写し出していることは知っておきたいものです。

今日の心がけ◆表情に注意しましょう。

みなさんは、成功と失敗に対してどのような気持ちを持っていますか。何か目標を立てたとき、何かに挑戦したとき、成功や失敗を経験していると思います。

成功したときは、自然と笑顔になれたり、自信を持つことができ、「また挑戦しよう」とする意欲にもつながります。

一方、失敗してしまったときは、自信を無くし、挑戦することが怖いと感じてしまうなど、マイナスの感情を抱いてしまうこともあるのではないのでしょうか。

しかし、昔の人たちが遺してくれた言葉にもあるように、失敗したときにしか見えないう景色があり、失敗したからこそ分かることがあり、そこからしか学べないこともたくさんあると思います。そして、それは必ずや成功への糧となるでしょう。

成功した経験、失敗した経験を活かせるかどうかは、気持ちの持ち方次第ではないのでしょうか。

今日の心がけ◆失敗を活かしましょう。

本校では毎朝、「活力朝礼」を行っています。それは、倫理法人会の皆様から朝礼指導をしていただいたことがきっかけです。

それからは、授業開始前に朝礼を行うことが習慣となりました。また、会計人の教養は学生が書いているため、教養を身につけることの大切さにも気づきました。

私が就職活動中には、面接の予行練習だと意識して、大きい声で、滑舌よく、姿勢も気にして朝礼を行っていました。すると、それらが癖となり、面接で自然な振る舞いをすることができました。さらには、私の態度が社長の目に留まり、社長自ら面接を志願されるようになりました。

たった数分の朝礼も、毎日行うことが大事だと思います。そして、その積み重ねが習慣となつて、自然と人間力を高めることができると確信しています。

何のために朝礼を行うかを、一人ひとりが理解することが大切です。そして、自分の目的意識を持つて、毎日の朝礼に取り組みましょう。

今日の心がけ◆実りある朝礼をしましょう。

現在、地球上には約数千万種もの生物の存在が確認されています。私たち人間も数ある生物の中の一種類ですが、他の生物にはない、壮大な文明を築き上げることができました。

それを実現したのは、「好奇心」という人間独特の感情だという説があります。

文明の幕開けとなった「火」は、山火事などの自然火を何かに使えないか、好奇心をもつて考えたからこそ利用範囲が広がり、のちに自分たちで火を起こせないかと考えたからこそ人間は火を操れるようになりました。

好奇心の積み重ねが社会を形成し、産業技術の発展などの足掛かりとなってきました。

普段の私たちでは、なかなか気にかけることはありませんが、このように見ると、「好奇心」を持つことはとても大切なことだとは思いませんか。

今日の心がけ◆好奇心を持つことの素晴らしさを感じましょう。

東京CPA会計学院の教育理念でもある「考える学び」をみなさんはどれだけ実践できているでしょうか。

勉強といえば、知識の詰め込みや丸暗記をイメージされることもありますが、現在では「考える」ことに重点を置いた勉強が重視される傾向にあります。それは、勉強の先に仕事があるからです。

決められた正解がない社会の中では、仕事で求められる良い結果とは、「正解」ではなく「最善解」です。そのため、何が最善解かを考えるために、日頃から常に自分の頭で考えることが必要なのです。

CPAでは、毎日学ぶ複式簿記の学習の中で理由まで深く考え、すべての事象に応用可能な思考力を鍛えます。その結果、問題に当たったときに、何が正しいのか、どうすれば最善かを自分の頭で考えることができます。

本物の人財となるためにも、会計のプロフェッショナルとしてのスキルを、思考力を養いながら深めていきたいですね。

今日の心がけ◆考える力を養いましょう。

美しい言葉遣いは、ビジネスの世界ではもちろん、ご近所付き合いや友人関係など、生きていくうえで重要な役割を果たします。

特に、初対面の人の場合は、あなたの言葉づかいが、第一印象の良し悪しを決めてしまうこともあります。

言葉づかいが正しければ、相手に「この人は誠実な人だ」、「信頼できる人かもしれない」といった好印象を与えることができますが、言葉づかいが悪ければ、「感じが悪い」、「信頼できるのだろうか」といった不安要素を与えます。

しかし、今まで使ってきた言葉づかいを突然変えることは難しいものです。そのため、普段から少しずつ、言葉づかいに気を配ることが大切です。

生きていくということは、他者とかかわることです。お互いに気持ち良く、円滑なコミュニケーションをとるためにも、美しく、正しい言葉づかいを心がけたいものです。

今日の心がけ◆美しい言葉を使いましょう。

マッキンゼーとは、世界最高の会計コンサルティング会社であり、その影響力は、国の政治や軍事にまで及ぶといわれています。世界中からエリート人材を集め、その中でも「昇格できなければ去れ」という厳しい環境下で業務を行っているそうです。

しかし、近年では「昇格して去る」人も増えており、例えば、ビジネス・ブレイクスルー代表の大前研一氏や(株)ディー・エヌ・エーの南場智子氏らが浮かびます。特に、大前氏はマッキンゼー時代、「エンペラー」の異名を持ち、初の日本支社長として活躍しました。

一方で、その偉大な力を悪用してしまった人もいます。マッキンゼー本社の元社長であり、世界一の投資銀行である、ゴールドマン・サックス銀行で取締役を務めた、ラジャット・グプタ氏です。

ラジャット氏は、その権力を利用して非公開情報を漏らし、インサイダー取引を行い、市場を混乱に陥れました。

二宮尊徳の「経済なき道徳は寝言であり、道徳なき経済は罪である。」という言葉にもあるように、いくら力があつても、お金だけを求めず、良心のもとに社会貢献していきたいものです。

今日の心がけ◆道徳心を持ちましょう。

これは、ある小学校の卒業文集に収められた文章です。

「私が一番感謝したい人は親です。私が生まれてから今日という日まで、私を育ててくれました。ご飯を作ってくれたり、洗濯をしてくれたり、遊びに連れていつてくれたり、習い事に通わせてくれたり…。挙げるときりがないほどお世話になりました。

他にも、学校であったことを忙しいのに聞いてくれたり、悩み事を聞いてくれたり、私が目標を達成したときは一緒に喜んでくれたり、たくさん心の支えになりました。楽しいときも、悲しいときも、いつもそばにいてくれた家族は私の大切な存在であり、私の大切な宝物です。

将来、何の仕事をするのか、何をしたいのか今はまだ分かりません。でも、絶対にいつか、恩返しができるよう、立派な大人になりたいです。」

親に限らず、お世話になった人などに対する感謝は、照れ臭くてなかなか伝えづらいかもしれませんが、ときには、溜まった感謝を伝えてみましょう。

今日の心がけ◆親への感謝を伝えてみましょう。

みなさんは、管理会計の重要性についてどれだけ認識されているでしょうか。

管理会計とは、お金の動きをコントロールするための、すべての企業に関連する有用な技術です。

先日、就職説明会で、あるラーメン屋のブースに行きました。そこでは、「ABC(活動基準原価計算)」を使って、価格の決定や原価の削減を行っていると説明がありました。管理会計の導入により、その会社は数年間連続で増益し続けており、管理会計のノウハウを持った専門士との徹底的な話し合いを欠かさないそうです。

インターネットを使えば、何でもすぐ簡単に情報を知ることができる現代ですが、どうすれば利益が出るのか、どうすれば儲けられるのか、このような問題に対する答えは簡単には検索できません。

検定試験対策ばかりではなく、一つひとつ知識と向き合い、自分なりに考え、実務でどう活かしていくかを意識して学習していくと、企業を支えることができる人財になれるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆本物の管理会計を学びましょう。

初代ドイツ帝国宰相のオットー・フォン・ビスマルクの言葉に、「愚者だけが自分の経験から学ぶと信じている。私はむしろ、自分の誤りを避けるため、他人の経験から学ぶのを好む」という言葉があります。

日本では、「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という言葉に訳され、多くの人に知られています。

私たちが「歴史」、つまり「他人の経験」を学ぶ手段の一つとして、歴史書があります。歴史書は、文献や遺物、遺跡、図像、口頭伝承などの史料から、先人たちの考えや行動からどのようなことが起こったのかをまとめたもので、先人の経験を教訓として学ぶことができます。

歴史書でなくとも、小説を読めば想像力がつき、詩集は、感性や表現力を磨くことができます。また、自己啓発本やビジネス書などを読めば、これからの人生で困ったときの指針になるかもしれません。

本から何を得られるかは、読み手次第です。せつかく時間をかけて読むのですから、実になるように読みたいものですね。

今日の心がけ◆本から学びましょう。

みなさんは、冬の危険といえば、何を思い浮かべますか。例えば、気温の低下によるヒートショック、積雪や路面の凍結による事故などが思い浮かぶのではないのでしょうか。

また、近年では、暖房器具による火災での事故も増えていきます。火事のもとになる暖房器具は、ストーブだけではなく、電気ヒーターやエアコンの暖房機能、湯たんぽなどもあります。

就寝前や外出時の消し忘れ、不良品の使用などにより暖房器具から火災が生じるのです。

特に注意しなければならないことは、暖房器具の消し忘れです。冬の朝方は、気温が急激に低い時間帯なので、それに備えて暖房器具をつけっぱなしにしたり、外出時や就寝前に消し忘れることが火災に繋がっているケースも多いようです。

火災を防ぐには、就寝前や外出時に暖房器具を消したかどうか確認して、朝起きてから暖房器具をつけることが大切なことです。

今日の心がけ◆暖房器具は注意して使用しましょう。

「瀬戸物」とは、東日本における陶器や磁器の総称であり、西日本では「唐津物」と呼ばれます。

陶器とは、粘土を原料に作られ、土色で温かみのある風情ある器です。また、丈夫で清潔、そして加工が簡単なことからトイレの便器にも利用されています。陶石を粉砕したものを原料にした磁器は、純白色で陶器に比べ薄くて軽く、さらに丈夫であるため、日本では古くから家庭内で使う日常食器として利用されています。

近年、この陶磁器を含めた和食器が、海外で人気を博しています。同じデザインの食器で料理を提供する海外のコース料理とは異なり、日本料理は、料理や季節に合わせて食器を選びます。この独特の美意識やおもてなしの意識、自然観、そして日用品でありながら、芸術性も併せ持つ奥深さが人気の秘訣です。

また、最近では国内でも土をこねたり、形を整えたりすることで無心になれる、ストレス発散にも役立つことから、陶芸教室に行く若者が増加しており、各地で開催される陶磁器市の人気も高まっています。

日本の陶磁器は、伝統的な日本文化というだけでなく世界にも誇れる文化です。今一度、和食器に目を向けてみてはどうでしょうか。

今日の心がけ◆日本の伝統に誇りを持ちましょう。

一九八六年、旧ソ連で、史上最悪の事故と呼ばれるチェルノブイリ原発事故が起こりました。チェルノブイリ原発に設置されていた原子炉がメルトダウンを起こし、強力な放射線物質が広範囲にわたって放出されたのです。

これにより、様々な自然や生物が死に絶え、周囲三十キロ内に住む、延べ十一万人もの住民が住処を追われました。現在も立入禁止となっている区域が多くあります。

しかし、あれから三十年が経って行われた調査の結果、驚くべきことに、周辺地域には豊かな自然が広がり、多くの動物たちが豊かに生活している姿が確認されたのです。

これは、住民の立ち退きによって、狩猟者、消費者が激減し、むしろ生物たちが繁殖するのに好都合な条件が揃ったため、このようになったのではないかと言われています。

自然とは、計り知れない強さを持つ、偉大なものだということを再認識させられました。

今日の心がけ◆大自然の偉大さを考えましょう。

みなさんは、今までで何かしらの失敗をしたことがあるでしょう。失敗したときは、あまり気分のいいものではありませんよね。

しかし、失敗することはとても良いことだと思えます。失敗を経験することで、人はその経験を活かし、次の成功に向けて成長することができるのです。

アメリカの発明家で、三百以上もの特許を取得した、チャールズ・フランクリン・ケタリングは「失敗を恥ずべきではなく、その原因を明らかにする為に、あらゆる失敗を分析すべきだ。失敗はこの世で最も重要な教育科目である」と言っています。

ほかに、エジソンなど、著名な発明家たちは、こぞつて失敗から得られる経験値の重さを説いています。

私たちは、これからの人生で多くの失敗を積み重ねていくでしょう。しかし、失敗をただ落ち込むのではなく、成長のためにどう生かせるかを考えてみると、人生が豊かになりそうです。

今日の心がけ◆失敗を活かしましょう。

みなさんは、これまでいろいろな人に出会ってきたと思います。そして、これからもたくさんさんの出会いがあるでしょう。

約千年前の中国に、孔子という人物がいました。孔子の言葉は現代も「論語」という書物の中に遺っています。論語の一節には「子貢問うて曰く、一言にして以て修身これを行うべき者ありや。子曰わく、其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」という章句があります。

これは孔子が、弟子である子貢から「一生をかけて行う価値のあるものは何か」と聞かれたときのやり取りです。「恕」というのは、「思いやり」を意味する言葉なので、「自分がされて嫌なことは、人にしてはいけない」という意味の章句です。

小さい頃から言われ続けている当たり前の言葉ですが、そうした当たり前のことが実は難しく、なかなか実践することができていないのではないのでしょうか。

私たち学生は、あと数年で社会人になります。社会で活躍するためにも、日頃から自分をみつめ直しましょう。

今日の心がけ◆思いやりの心を持ちましょう。

どんな人でも、学校、職場、家庭などで様々な問題を抱え、壁にぶつかることがあります。そんなとき、あなたはどのようにしてきましたか。諦めたり、逃げたりした人も多いのではないのでしょうか。

高い壁を超える、ということはとても大変なことです。しかし、壁を超える方法に、「正解」があると思っ**てはいけません。**

壁を超える方法は一つしかないわけではなく、また、一人だけで取り組まなければならないわけでもありません。こつこつ地道に努力する、一気に全力を出して乗り切る、仲間に引つ張り上げてもらう…こうした様々なアプローチの中に、成功する方法がいくつかあるのです。

マトマ・ガンジーは、「高い壁を乗り越えたとき、その壁はあなたを守る砦になる」という言葉を遺しています。

「壁」は、たとえ小さなものでもチャンスに繋がります。勇気を出して乗り越え、成功体験を積み重ねましょう。

今日の心がけ◆様々な方法で壁を乗り越えましょう。